

—淡路の情報いっぱい!生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



～秋の夜長～ 雅な音色に魅せられて

VOL.186

もくじ

P1 雅楽 山内 章広さん P2 尺八 高坂 映山さん P3 箏 森和子箏曲研究室 P4 三味線 華名会 P5 宮地楽器店
P6 淡路文化会館からのお知らせ P7・8・9・10 淡路の文化活動・イベント情報

日本最古のオーケストラ 雅楽

“雅楽”・・・あまり聞きなれない言葉ですが、どんな音楽か気になりますか？
雅な音色を追い求めてたどり着いたのが、洲本市五色町鮎原の山内章広さんが奏でる雅楽器の“龍笛(横笛)”でした。山内さんが龍笛を始められたのは15年位前のこと。立派な装束を身にまとった凛々しいお姿の山内さんに雅楽器や演奏についてお話を伺いました。

そもそも雅楽とは、千年以上前から主に神仏に捧げる音楽として伝承されてきた日本最古のオーケストラのことなんだそうです。雅楽の演奏には指揮者がいません。また、テンポも規則正しく刻まれるのではなく、演奏者同士の呼吸によって作り上げられます。雅楽の演奏は、管・絃・打楽器による器楽合奏「管弦」と呼ばれ、そのうちの『管』は鳳笙・龍笛・箏の三管からなります。鳳笙は雲の隙間から射し込む光(天)を表し、龍笛は空中を舞う龍(空)を表し、箏は人混み雑踏(地)を表しているそうです。この三管の音が調和して幽玄で雅やかな雅楽の曲が流れます。もし、それぞれの音が少しでも過剰に強調したと、ただの「騒音」となってしまうのだそうです。山内さんが奏でる『龍笛』はその名の通り、その音色は「空を翔ける龍の鳴き声」のように、広い音域をもち装飾的な旋律を奏します。



雅楽器 龍笛奏者 山内 章広さん



雅楽器三管

日本人の心を癒してくれる
雅やかで華やかな雅楽



龍笛(横笛)



鳳笙(天)



箏(地)

【問い合わせ先】
伊弉諾神宮内
兵庫県神道青年会淡路支部
支部長 打田 高司
☎ 0799-80-5001

取材に伺った日、山内さんをお願いをして演奏をしていただきました。鳳笙は奥様の紘子さんが、箏はお母様の幸代さんが、そして龍笛は章広さんが担当します。優雅でゆったりとした曲にそれぞれの楽器の音色が見事に調和し、力強さの中にもしなやかさがあり、不思議な位優しい奥の深い音色です。この紙面でそれがお伝えできないのが残念です。山内さんは、生田神社や西宮神社などの祭礼時に龍笛を演奏するそうです。雅楽器の魅力はなんといっても雅やかで華やかさがあり、私たち日本人の心を癒してくれるところです。難しい楽器ではありますが雅楽の世界を楽しんでみませんか。
ちなみに、淡路の伊弉諾神宮の祭典などでは『淡路神楽』といって、巫女さんの神楽舞に合わせて演奏する龍笛や太鼓を聴くことができます。
(応援隊:瀬戸 由美子)

お箏に魅せられて半世紀

幸せを感じる優しい音色を伝える

沢井箏曲院

森和子箏曲研究室



優雅で繊細なお箏の音色



淡路市尾崎で、沢井箏曲院 森和子箏曲研究室を主宰している森和子さん。高校1年生の時、お友だちの家で箏(こと)に出会い、箏の素晴らしさに魅せられて志筑から佐野までバスでお友だちのお家に何度もお邪魔したそうです。祖母に箏をプレゼントされ、いままで以上に箏の練習に夢中になり、大学も箏ができる学校を選びました。大学の箏曲部で沢井忠夫先生に出会い、より箏の魅力に引き込まれ、淡路に帰ってからも、大阪での先生のレッスン日には必ず予約をして17年間通ったこととお聞きし、頭が下がる思いです。半世紀以上のお付き合いで今では箏は、切っても切れない身体の一部

となっている感じさえしました。

その間、高校で家庭科の講師、クラブ活動の顧問、主婦、母をしながら、箏は勿論、茶道、華道、伝統文化を皆さんに楽しんでいただこうと、県内の邦楽愛好家の方々が集う「ひょうご邦楽の祭典」を毎年開催したり、老健施設で「箏曲コンサート」を開いてきました。入所している人たちは邦楽器の優しい音色に聴き入り、口ずさんだりしてお顔がホッコリと明るくなるそうです。

また平成17年5月に、洲本市立五色中央公民館で糸遊(しゆう)の会を結成し、8人位の人に月2回指導しています。自宅でも5人位指導しています。参加している人は、「弾いている時は楽しいし、終わるとホットして心地よい満足感が良い」とおっしゃっています。

バイタリティーいっぱい森和子さん、止まることない多方面での活躍にただただ素晴らしいの一言につきまます。これからもふるさと淡路島から、また兵庫県から世界各地に発信し、箏の素晴らしい音色を聴いて、多くの皆さんが「しあわせ」を感じる至福の響きを奏でていただきたく思います。(応援隊:廣岡ひろ子)



森和子さん(淡路市尾崎) TEL 0799-85-1114

はるな
三味線 華名会

日本を代表する和楽器である三味線は16世紀末ごろ、中国から三弦が伝えられ、短期間のうちに現在の三味線の形に改良されたようです。三味線には大きく別けて太棹・中棹・細棹があり、それぞれの用途に使われています。糸(弦)は3本で主に絹糸が使われています。



～♪ 河内音頭練習中♪～

♪♪～♪♪♪～♪♪

なじみのある曲が演奏できたら楽しいですよ!



教室は和気あいあい♪

今回取材に訪れたのは、洲本市中央公民館で第1・第3金曜日の午前10時から12時まで練習を行っている「華名会(はるなかい)」という三味線教室です。指導しているのは清水晴望(はるみ)さんで、清水さんの三味線歴は約40年、この「華名会」の指導も30年になるそうです。

この日の教室も10人の生徒さんに指導されていました。練習はまず三味線の音合わせから始まり、三本の糸一本ずつ音の高さを調整します。この日の練習の最初は「河内音頭」でしたが、清水さんの指導は和気あいあいで、習っている生徒さんとても楽しそうに習っていました。この教室では一般的な中棹の三味線を使っており、初めて習う人も多く、ゆっくり丁寧

に指導されていました。練習する曲も民謡や歌謡曲、童謡など誰もがなじみのある曲を教えているそうです。

発表の場としては洲本市文化協会主催の「すもと芸能祭」がありますが、そのほかにも老人ホームなどいろいろなところから招かれて演奏活動を行っています。その訪問先から、とても喜ばれています。

三味線教室は、この洲本中央公民館のほかにも南あわじ市でも開かれているので、初心者の方でも大歓迎だそうです。三味線に興味のある皆さんもいかがですか。三味線教室についての詳しいことは清水さんにお問い合わせください。(応援隊:田処 吾久)

問合せ先 清水晴望さん 電話0799-26-0895



百年以上島の伝統芸能を支えています。



琴三絃



和楽器 うんちく オランダの国立民族博物館には、洲本市出身の奥野友桂氏作の連琴25弦が展示されています。

洲本市栄町の宮地楽器店を紹介します。創業は大正5年で100年以上に渡り淡路島の文化芸能を支えています。初代の宮地島次郎さんが義太夫三味線が趣味で和楽器を取り扱い始め、息子さんの宮地弘邦さんがその後を継ぎ、今は孫の宮地利弘さんが楽器店を経営されています。代々耳が良く、美形の家系で、弘邦さんは長唄が得意だったそうです。

利弘さんは主に和楽器の修理を担当していますが、島内の和楽器の演奏者や先生方に知り合いも多く、また和楽器の歴史などにも詳しくて博学です。取材時には出島に滞在していたシーボルトの話も聞かせていただきました。シーボルトが日本から持ち帰った道具の中に連琴25弦があり、これはオランダ

の国立民族博物館(ライデン)に展示されています。この連琴25弦は洲本市出身の連琴創始者の奥野友桂氏の作品だそうです。その昔シーボルトが美しい琴の音に惹かれた証拠ですね。

最近では義太夫三味線などを多く扱っているそうです。また、ネットを通じて北海道から九州までの全国各地から問い合わせがきていて、大阪・東京からの注文も多くなり、現在では島外のお客さんの方が多くなっているそうです。(応援隊:田村 ひろ子)

琴・三弦(三味線)・胡弓・太鼓・しの笛・尺八 販売修理

宮地楽器店 宮地利弘 TEL 0799-22-0931 (定休日:水曜日)



和楽器の博物館のような店内



象牙の撥



人形浄瑠璃街道推進事業

淡路島民俗芸能フェスティバル

日時 **11月19日** (日) 13:00~16:35

場所 **淡路文化会館 講堂**

オープニング 13:00~

よさこいAWAJI・あわ神ダンス

淡路市立多賀保育所(淡路市)

だんじり唄 13:24~

① 傾城阿波鳴門 順礼歌の段

福井子供会祭礼団(南あわじ市)

② 岸壁の母

五色之姫(洲本市)

③ 仮名手本忠臣蔵九段目 山科隠れ家の段

三原だんじり唄保存会青年部(南あわじ市)

踊り・獅子舞 14:18~

④ 津名町小唄

津名町小唄愛好会(淡路市)

⑤ 阿波おどり

舞女流華連(洲本市)

⑥ 盆踊音頭「常六さん」 東浦盆踊音頭保存会(淡路市)

⑦ 阿万の風流大踊小踊 阿万風流踊保存会(南あわじ市)

⑧ こども獅子舞

細工町子ども会(洲本市)

人形浄瑠璃 15:17~

⑨ 増補大江山 戻り橋の段

兵庫県立淡路三原高等学校郷土部(南あわじ市)

⑩ 傾城阿波鳴門 順礼歌の段

すだち座(徳島県)

踊り 16:12~

⑪ 長刀

緑五尺おどり保存会(南あわじ市)

⑫ 輝<淡路市(音頭バージョン)

「輝<淡路市」を広める会(淡路市)

淡路文化会館「いざなぎ学園」

地域公開講座

「笑う顔には福が来る」

日時 **12月1日** (金) 14:00~16:00

場所 **淡路文化会館 講堂**

さんゆうてい らくだんじ

三遊亭 楽団治

「笑点」でおなじみの「三遊亭円楽」の一門。兵庫県朝来市和田山町生まれ。県内の小中学校等に26年間、教員として勤務後、現在「ひょうご笑いの会」事務局長

募集定員：200名(先着順)

申込方法：案内チラシの申込書に必要事項を記入し、下記申込先に、FAX・郵送・直接持参により申し込んでください。

申込先・問い合わせ先

淡路文化会館

〒656-1521淡路市多賀600

☎ 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

淡路文化会館「いざなぎ学園」60歳から始める大学

オープンキャンパス

○実施日:11/1Ⓞ・11/29Ⓞ・12/13Ⓞ・1/10Ⓞ・2/14Ⓞ

○会場:兵庫県立淡路文化会館

○体験の日程と内容

9:00 受付

9:30 日程等の説明(募集説明会)

10:00~11:45 講座見学

①11/1Ⓞ 「北前船」or「くすりの正しい使い方」(選択コース)

②11/29Ⓞ 「若年層の犯罪、自殺等の問題」

③12/13Ⓞ 「最新の天気予報事情」

④ 1/10Ⓞ 「大道芸」

⑤ 2/14Ⓞ 「現代の食生活事情」

13:15~15:00 講座等見学

① 学年別講座 ②~⑤サークル活動

*午前中のみ参加可
*事前申し込みは不要
(当日受付)



日本遺産認定記念セミナー

日本遺産認定を記念し、下記セミナーを開きます。

○12/16Ⓞ13:30~

「日本遺産認定の概要と淡路「国生み創生神楽」の上演」

○1/27Ⓞ13:30~

「銅鐸から何がわかるのか~南あわじ松帆銅鐸発見の意義~」

○2/17Ⓞ13:30~

「淡路人形浄瑠璃の魅力について(上演含む)」

平成30年度 受講生募集期間(先着順) 平成30年1月10日~4月13日



県民交流広場紹介

考えています。今回は、淡路文化会館で行われた、いただいた2団体の活動を紹介します。

淡路文化会館では、地域づくり活動の拠点となっている県民交流広場の皆さんを紹介していきたいと「国生みの島フェスティバル」(10月1日)に参加

「自然ふれあい長沢」

長沢地域の活性化と県民交流広場間の交流を目的に、平成19年度より長沢朝市、大正琴「やよい会」、ふるさとひょうご創生マイスター淡路と連携を図りながら、各種講座やイベントを実施しています。また、地域を訪れる人が3つの不「不安・不便・不自由」を解消する取り組みとして、長沢散策マップの作成や案内看板等を設置しました。今後も、県民交流広場として、継続した活動を推進します。

代表：仲野孝夫さん



「生穂ふれあい会」

生穂地域では、地域活性化、人とのふれあいの場として県民交流広場の活動を行っています。夏は、納涼祭、冬には産業文化祭を開催し、にぎわっております。手作り屋台、楽しいイベント、餅つき大会など工夫を凝らしています。

①親父の料理教室(第3金曜日19:00~) ②パソコン教室 ③書道教室 ④民謡教室 ⑤句会 など。

現在、地元生穂の食材を使ったメニューを考案中です。

代表：大久保浩伸さん



第5回淡路島くにうみ講座

「淡路の食と文化」

講師 白井 操 氏 (料理研究家)

淡路の郷土料理や食材の特徴などについて学びます。(トークショー形式)

日 11月19日㊤

時 11:00~12:00(開場10:30)

場 洲本市文化体育館 洲本市塩屋1-1-17

定 300名 無料 ※事前申し込み必要

締 11月17日㊤ ※定員になり次第締切

問(一財) 淡路島くにうみ協会

〒656-0022 洲本市海岸通1丁目11-1

☎0799-24-2001

FAX0799-25-2521

生活創造活動グループ紹介



フラダンスサークルpumehanaは、月2回、第2、第4木曜日に集まって練習をしています。フラダンスはハワイの伝統舞踊ですが、私たちは、ハワイアンだけでなく、日本の曲に振りをつけて踊ります。日本の曲で踊ることで、観て下さる方々も歌を口ずさみながら参加していただけるし、人それぞれの思いが詰まるので、心のこもった踊りができます。フラダンスに興味のある方、ゆるりと練習をしていますので、いつでも練習に来てください。

平成29年度淡路生活創造活動グループ交流会(7/8)ではumi*umiの皆さんのウクレレの生伴奏で「やさしさに包まれて」「海の声」を踊りました。



淡路島 竹灯籠 ～晩秋から初冬のあかり～

○竹灯籠で浮かび上がる弥生時代の鍛冶遺跡

時 11月4日⊕ 17:30～21:00 (小雨決行)

場 五斗長垣内遺跡 (淡路市黒谷1395-3)

○摩耶山竹灯籠 摩耶のあかり

時 11月18日⊕ 18:00～21:00

(新月は20:43) 雨天時19日に順延

場 鷲峰寺参道入り口～展望所(約350m) 淡路市野田尾1064

○生田村竹灯籠 戦国をしのぶ備中館跡のあかり

時 11月18日⊕、19日⊕ 17:30～21:00 (小雨決行)

場 そばカフェ生田村周辺 淡路市生田畑152

○もみじを照らす竹灯籠(長澤)

時 11月23日ⓈⓉ 17:30～21:00 (小雨決行)

場 東山寺境内 淡路市長澤1389

○柳沢竹灯籠 棚田のあかり

時 12月2日⊕ 17:30～20:00 (小雨決行)

場 みか谷池付近の棚田 淡路市柳沢丙93

問 兵庫県淡路県民局県民交流室未来島推進課

☎0799-26-3460 FAX0799-24-6934

地域再生に取り組む淡路市の5地域が連携し、地域資源を活かした竹灯籠の幻想的な空間を作り出します。竹灯籠のやわらかなあかりをお楽しみください。



兵庫県淡路消費生活センターからのお知らせ

多重債務者相談強化キャンペーン

兵庫県多重債務者対策協議会では、多重債務問題の根本的な解決を支援するため、法律専門家による『無料債務整理相談会』を実施します。(要予約)

●借金の返済に追われて、税金、公共料金、国民健康保険料、授業料、家賃等を滞納している。

●クレジットカードでのキャッシングのせいで毎月の生活が苦しい。 など

日時：平成29年12月9日(土)
13時30分から16時30分まで

場所：洲本総合庁舎 1階 会議室
(洲本市塩屋2-4-5)

予約先：兵庫県淡路消費生活センター
0799-26-3360

(開催日は電話が繋がりません。ご注意ください)

一人で悩まず、勇気を出してまず相談してください

兵庫県淡路消費生活センター
消費生活相談・多重債務相談
☎0799-23-0993

9:00～12:00 13:00～16:30
(土日祝日・年末年始は除く)



淡路島のまち・地域づくり活動を応援する「プラットフォーム淡路島」からのお知らせ

平成29年度第3回あわじ地域づくりラウンドテーブル

高校生と共に考える 防災・減災
地域の防災 一みんなで考える災害対策・対応一

司会進行：県立淡路三原高等学校放送部の皆さん

活動報告：県立舞子高等学校環境防災科の皆さん

ワークショップ：災害が起こったら？

(こんな時、どうする?)

ご指導：県立舞子高等学校環境防災科科長 和田 茂先生

「防災・減災メッセ」(11:00～16:00開催)と併行して実施されます。

東日本大震災・九州中部地震の被災地で、地域や被災者と向き合い、フィールドワークしてきた高校生の体験や取組・活動が紹介されます。災害が起こると人はどう動くのか、どちらに向かうかを話し合い、自らの行動を検証・確認していきます。勿論・正解はありません。インフラだけで災害は防げない、日頃からの意識付けや準備が必要です。喫緊の課題として地域づくりや連携について次代を担う高校生と一緒に考える機会になり、若い想いは地域や活動を動かす大きなパワーになります。絶好の機会、多くの方々のご参加を!

日時：平成29年11月26日(日)13:00～15:00

会場：サンライズ淡路 体育館

(南あわじ市広田広田1466-1・☎45-1411)

参加費：無料

主催：プラットフォーム淡路島

申し込み・問い合わせ先

淡路県民局県民交流室県民・商工労政課内

TEL/0799-26-2043 FAX/0799-24-6934

メール/awajikem@pref.hyogo.lg.jp





◆洲本市民交流センター

所 〒656-0054 洲本市宇原1788-1
☎0799-24-4450 ㊟0799-24-4452

こども書道作品展

長谷田有香氏が指導されている子供たちの作品です。

㊟11月2日㊟～26日㊟ 時 9:00～21:00(初日は11:00～最終日は13:00まで) ㊟月曜休館
㊟1階アールギャルリー ㊟観覧無料

◆淡路市立しづかホール

所 〒656-2131淡路市志筑新島5-4
☎0799-62-2001 ㊟0799-62-6465
㊟火曜休館

平成29年度 淡路市総合文化祭一津名会場一

㊟11月4日㊟～5日㊟
作品展/9:00～16:00
芸能祭/5日㊟ 13:00～
お茶席/5日㊟ 10:00～15:00

教室案内

○しづか少年少女合唱団

㊟11月4日㊟ 26日㊟ 時 14:00～15:30 講 濱田 美那氏 ㊟1,000円/月

○色のカルチャー教室しづかホール

11月のテーマ:美容/ヘア/ネイル/フラワー

㊟11月13日㊟ 時 19:00～20:00
講 奥野 香代氏 ㊟2,000円/月
㊟月1回60分 全6回シリーズ

○しづか子供英語教室

㊟11月15日㊟ 29日㊟ 時 15:30～16:30 ㊟500円/回

◆国登録有形文化財春陽荘

所 洲本市宇山2丁目5-4
☎0799-20-1729 075-204-8965

春陽荘チャリティーライブ2017

今聴きたい淡路島在住の音楽家たちの祭典

㊟11月11日㊟ 時 13:00～16:00
出 〇碧音-aonei-:愛、喜び、生きることをartする 〇雷鳥風月:淡路の土で作られた吟オカリナ演奏 〇Umi*Umi:ウクレレ演奏 〇鶴澤友球:義太夫節三味線演奏 〇LIBERAL:ロックバンド
㊟入場料1,000円(中学生以下無料)

◆淡路人形座 11月公演

所 656-0501南あわじ市福良甲1528-1地先
☎0799-52-0260 ㊟0799-52-3072

タイトル「阿波十」

定時公演

㊟詳しい日程はお問い合わせください。
時 10:00、11:10、13:30、15:00

㊟毎週水曜日

①「人形解説」傾城阿波の鳴門順礼歌の段」

㊟大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円

②「人形解説」戎舞」

㊟大人1,000円 中高生800円 小学生600円 幼児200円

臨時公演

30名様以上・15日前までに予約必要 時 9:00、16:00

※上演時間・内容が変わる場合あり

今月のトピックス

第4回 阿波路会 竹本友和嘉・鶴澤友勇 女流義太夫公演

㊟11月18日㊟ 時 18:00開演
㊟大人1,000円(学生無料) ㊟素浄瑠璃「摂州合邦辻 合邦内の段」

人形まつり

吉田傳次郎座、秘伝の襖の展示

〇人形まつり特別企画

体験型バックステージツアー

㊟毎週日曜日 ㊟小学生以上500円(入場料とは別途) ※当日11:10の公演を見られた方先着20名限定 舞台裏見学・体験

速報 鶴澤友路追善公演

㊟12月3日㊟ 時 14:00開演 ㊟大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 前売り『11月1日発売開始(全席指定) 売切れ次第終了 ㊟仮名手本忠臣蔵「三段目 殿中刃傷の段」「七段目 祇園一力茶屋の段」(素浄瑠璃)

◆洲本市文化体育館

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎0799-25-3321 ㊟0799-25-3325

○第70回記念洲本市美術展

㊟11月1日㊟～5日㊟ 時 9:00～18:00(最終日16:00まで)

㊟無料 ㊟会議室1A・2C

○ピアノコンサート【神野ピアノ教室】

㊟11月3日㊟ 時 13:30開演
㊟無料

㊟文化ホール『しばえもん座』

○ヴォルフガング・ベッチャーチェロリサイタル2017

㊟11月5日㊟ 時 14:00開演

㊟一般㊟2,000円㊟2,999円

中学生以下㊟500円㊟800円

㊟文化ホール『しばえもん座』

○淡路吹奏楽団第39回定期演奏会

㊟11月12日㊟ 時 14:00開演

㊟無料

㊟文化ホール『しばえもん座』

○弓張美季ピアノリサイタル

㊟11月23日㊟ 時 14:00開演

㊟一般㊟2,000円㊟2,500円

高校生以下㊟500円㊟1,000円

㊟文化ホール『しばえもん座』

○洲本市消費生活講演会2017

学ぶことからはじめよう

～自立した消費者に向けて～

㊟11月26日㊟ 時 14:00開演

㊟入場無料※要申込み

㊟文化ホール『しばえもん座』

◆兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4
☎0799-74-1200 ㊟0799-74-1201
時 10:00～18:00(最終入館17:30)
㊟特別展会期中(9月23日～11月12日) 入館料大人1,500円、70歳以上(要証明)750円 ※高校生以下無料

特別展あわじガーデンルネサンス2017

日本の美意識が創る花緑の世界

㊟9月23日㊟～11月12日㊟

小笠原左衛門尉亮軒氏「江戸園芸談話」

㊟11月4日㊟ 時 14:00～ ㊟聴講無料、入館料が必要。予約優先

インフォメーション



◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
☎0799-85-1391 F0799-85-0400
時 9:00～17:00 入場無料

津名フォトクラブ展

日 10月29日⑩～11月12日⑩16:00
会 美術展示室

戸塚刺しゅうミニ展

日 11月8日⑩～14日⑩15:00
会 県民ギャラリー

全日写淡路支部作品展2017

日 11月14日⑩～25日⑩
会 美術展示室

元気な仲間ほのぼの 絵手紙展

日 11月16日⑩～25日⑩
会 県民ギャラリー

第8回「協生」あわじ障がい者 美術作品展

日 11月28日⑩～12月10日⑩
会 美術展示室・県民ギャラリー

◆淡路市立サンシャインホール

所 〒656-2305 淡路市浦148-1
☎0799-74-0250 F0799-74-0256

淡路島 深秋の彩 ～美しきヴィルトゥオーサの競演～

日 11月19日⑩ 時 14:00開演
料 一般：2,500円 学生、70歳以上：1,000円 未就学児：無料
会 サンシャインホール舞台

カルチャースクール案内

○サンシャイン太鼓教室

日 11月14日⑩ 28日⑩

○えいごサークル

日 11月13日⑩ 27日⑩

◆淡路島国営明石海峡公園

所 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
☎0799-72-2000 F0799-72-2100

季節のクラフト秋

「森の時計づくり」
「メッセージボード作り」
日 11月18日⑩・19日⑩・23日⑩⑪・25日⑩・26日⑩ 時 10:00～16:00(受け付けは15:30まで) 会 ビジター棟 料 参加費：森の時計作り350円、メッセージボードづくり150円(別途入園料、駐車料金が必要)

園芸療法ボランティア 実践講座

募集

「花・みどりとかかわりながら子育てを考えよう」参加者募集
日 ①1月21日⑩ ②2月11日⑩ ③2月25日⑩ 時 10:00～12:30 場 淡路島国営明石海峡公園 料 参加費各回500円(②③は別途入園料) ※駐車料金必要 対 3回参加可能な方

永田秀次郎顕彰会設立記念式典 並びにシンポジウム

関東大震災からの復興に尽力し、1940年にオリンピック開催を夢見て活動した淡路出身の政治家「永田秀次郎」の功績や人間性を広く周知することを目的として顕彰会を設立し、初回事業としてシンポジウム開催。

日 11月26日⑩ 時 14:00開場
会 南あわじ市中央公民館 料 無料
問 秀次郎のオリンピック企画推進委員会 理事長 中本 美和
☎ 080-5365-0868

※このシンポジウムは9月17日⑩台風接近により開催が延期されたものです。

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約230カ所に無料配布しています。今後ともご愛読よろしくお願ひします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。淡路文化会館のホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。
(発行) 淡路生活創造応援隊 淡路文化会館・淡路文化会館運営協議会
〒656-1521淡路市多賀600 ☎ 0799-85-1391
F 0799-85-0400 E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.jp
<http://www.eonetnet.jp/~awaji-cc/>

◆洲本市民工房

所 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎F0799-22-3322

第18回戸塚刺しゅう展

刺しゅう作品約300点の展示
日 11月3日⑩⑪～7日⑩ 時 9:00～17:00 最終日(7日)は15:00まで
会 3Fギャラリー 料 鑑賞無料

第5回アートスタジオ 夢作品展「在りのまま」

日 11月10日⑩～12日⑩ 時 10:00～17:00 最終日(12日)は16:00まで
会 3Fギャラリー 料 鑑賞無料

墨に遊ぶ子供たち展

日 11月25日⑩～26日⑩ 時 10:00～18:00 最終日(26日)は16:00まで
会 3Fギャラリー 料 鑑賞無料

◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

所 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1
☎0799-36-2314 F0799-36-5408

立原えりかの「グリム童話」 絵本原画展

日 10月1日⑩～12月3日⑩
時 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休 月曜休館 料 大人300円、高大生200円、小中生100円 ※小中生は「ココロンカード」又は「のびのびパスポート」の利用で入館無料

編集だより

沖縄旅行で「三線」(さんしん)に出会い、習い始めたという定番の入門きっかけを持つ私。三線は琉球王国時代からの楽器ですから和楽器とはいえないかも知れませんが、長い歴史をもつ楽器ということでは同じジャンルかも知れませんが、演奏の技術以上に言葉や発音、そして覚えられないという壁に苦戦。島内でも時々沖縄音楽のイベントが開かれています。こちらも是非どうぞ。 応援隊：村上紀代美

私たちはポケットあわじを応援します。

